事業所における自己評価結果

かどるあっぷ

※回答者数は15名です。「はい」「いいえ」の回答数の合計が15に満たない項目がありますが、新入職員で回答できない者がいるためです。ご了承ください。

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・スペースの使い方を工夫しながら安全に配慮し効果的な活動が実施できるよう工夫している。 ・廊下や他の部屋を有効に活用している。 ・個室やパーテーション、散歩など工夫をし支援していると思う。 ・個室やパーテーションを有効に使い、多動や音の苦手なご利用者が落ち着くスペースを作れる。 ・利用人数や活動内容によっては、個室が足りない場面もあるが一時的である。 ・支援室に入れない、音が苦手、体調が悪い等のご利用者の為に静養室、相談室の個室がありそれぞれ職員がつき有効に活用出来ていると思う。	・静かな環境を好まれる利用者や静養室が使えない時は適切でないこともある。 ・ご利用者が多い時は、狭く感じることもある。 ・長期休みや早帰りの居場所の確保が困難。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	15	0	・ご利用者の様子や、マンツーマンでの支援が多い時は足りないと感じることがあるが、余裕のある時もあり日頃の職員間の協力もあり適切。 ・職員の急なお休み等で手が回っていない時もあるが、職員同士が協力して支援をしていると思う。 ・手厚い支援ができている。 ・ご利用者の状態に応じて、個別の対応ができている。 ・より支援が必要な利用者様へはマンツーマンで対応できている。	・利用者の様子やマンツーマンでの支援が多い時は足りないと感じる時がある。 ・一人ひとりの療育を考えるともう少し個別に対応できる人員がいると良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	・靴置き場やロッカーに写真を貼り自立行動につながるように工夫している。 ・玄関前にカーポートができ、雨の日も急ぐことなく落ち着いて支援することができる。 ・バリアフリーで子どもがリラックスできる環境で過ごせている。 ・スケジュール表や絵カードの掲示で視覚支援を行っている。 ・1日の流れが絵や大きな文字で表され、分かりやすい。 ・ホワイトボードで今日の活動と流れをお知らせし、タイムタイマーで始まりと終わりを伝えている。また、一人ひとりに合わせ絵カードも使用している、 ・パーテーションや個室の利用等、個々のご利用者に合った環境整備をしている。 ・玄関前にカーポート、雨除けを設置したことで車への移乗がしやすくなった。 ・スロープ、手すりもあったり施設内には段差もないので過ごしやすいと思う。 ・明るく開放的な空間で分かりやすく環境が整っている。	・男性のご利用者が女子トイレに間違って入ってしまうということを耳にしたので、男子トイレ、女子トイレと分かりやすく表示があればいいのかなと思った。

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・館内の掲示物も季節の物を取り入れ、季節を感じられるよう工夫している。 ・清掃、換気を徹底し安心して活動できる生活空間を維持している。 ・毎日掃除、消毒、換気に努め、危険な個所には常に配慮し策を講じている。 ・心地よく過ごせるよう、危険な箇所には常に配慮し気を付けている。 ・毎月、安全点検を行っている。 ・フローリングや床暖房もあり、子どもたちは横になったり、裸足で過ごせ刺激になっている。 ・毎日の清掃、毎月の安全点検を行い、清潔な環境になっていると思う。 ・汚れてもさっと拭けるので清潔である。 ・大きな支援室、ゆったりと過ごせる個室があり活動によって使い分けが出来ていると思う。	・人数によっては数名での使用となっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	・ご利用者が自分で落ち着くために過ごしたり、活動内容によって使用できている。 ・個別活動や落ち着きたい時などに、各小部屋が自由に使える。 ・個別活動や、クールダウンしたい時など自由に使用することができる。 ・複数の個室があり使用出来る環境になっている。 ・プログラムの内容やご利用者の状況に合わせ適宜部屋を分けて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	0	・毎日のミーティングにて、職員間で振り返り、PDCAサイクルを繰り返し行い改善に向かうよう話し合いをしている。 ・PDCAサイクルを行い、支援の質や業務改善のために職員が参画していると思う。 ・起案に対する反省用紙が活用されており、振り返りされている。 ・一人一人自分の目標を設定し業務を行っている。 ・支援前の打ち合わせ字や終了時に職員間でご利用者の情報を共有している。 ・ヒヤリや事故があった際は職員同士でミーティングを行い、再発防止に努めていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・毎年、保護者アンケートを実施し保護者の意向等を把握して、業務改善につなげている。 ・保護者の意向に改めて気づくことができ今後の支援につながる。 ・毎年保護者アンケートを実施して保護者からの意見を把握していると思う。またホームページにも掲載し、業務改善につなげている。 ・とても参考になり今後の支援につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・管理者との面談で課題を示し、改善されているものがある。 ・毎日のミーティングや、月1回の全体会議にて、意見等が出されて話し合われている。 ・打ち合わせや反省用紙提出等意見する機会があるし、日頃の雑談でも意見が出てきている。 ・毎日生活介護、放課後職員での打ち合わせを行い意見を把握していると思う。 ・月１回の全体会議や管理者との面談で意見を示し、改善されていることもある。 ・フラットに意見を言えており、またその内容は中心者を通じて反映されている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	9	・外部評価は今のところ行っていないと思うが、常に業務改善を心掛けている。	・外部評価は行われていないので、必要なことだと思う。

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・支援に携わる職員は全員、年に一回は研修に参加して、支援の質の向上に努めている。 ・外部研修の参加に加え、内部研修を実施している。 ・研修担当職員が、全員外部研修に参加できるように計画を立て、受講した職員は復命書によって、内容・成果などを報告している。 ・外部研修に加えて内部研修も行われているので、研修を受講する機会を多く確保していると思う。 ・外部での研修に積極的に参加し共有もされている。 ・自主的な研修への参加がみられる。	・支援に携わる職員が全員、年に1回でも研修に参加し、スキルが上がり支援の質の向上を目指したい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	・担当者がプランを立てたうえで、打ち合わせの時に話し合い意見を出し合い完成させている。 ・ご利用者の発達段階や特性に合わせたプログラム、5領域との関連性を明確にしたものが作成されHPにて公表されている。 ・ホームページにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0	・適宜意見交換しつつアセスメントを行い、子どもの状態像を把握している。そのうえで計画を決定する際も一堂に会した場で決定している。 ・保護者との定期的な面談や必要に応じた相談により、保護者や本人のニーズを確認し、放課後等デイサービス計画を作成している。 ・定期的な面談や相談で保護者からの意見を分析し、計画書を作成していると思う。 ・毎日の打合せで、アセスメントを定期的に行い、子どもの実態に合わせた支援プログラムを作成し継続的に見直している。 ・保護者からの聞き取りと子どもとのかかわりの中からアセスメントを行い、放課後等デイサービス計画の内容に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・放デイ計画（案）ができた時点で、職員全体での検討が行われている。 ・ご利用者の成長に合わせて見直されており、打合せ等で職員に周知され共通理解のもとで、ご家族に意見を踏まえて検討されている。 ・職員同士で意見交換をし、検討していると思う。 ・担当者会議で、ご利用者の様子や課題について共有する時間を設け、その内容を放課後等デイサービスけいっかうに反映させている。 ・毎日の打ち合わせで一人ひとりについて振り返り、支援の内容について共通理解を深めた上で、検討している。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	15	0	・放課後等デイサービス計画を意識し、支援に活かすように周知している。 ・計画内容が毎回利用時に記入されている「個別支援記録表」と同梱され、いつでも確認できる。 ・サービス計画を意識し、支援を行っていると思う。 ・支援計画を職員全体で共有し計画に沿って支援を実施している。 ・計画の立案時、更新時にはミーティングにて職員に周知され、常に毎回利用時に記入されている「個別支援記録表」と一緒になていて、計画に沿った支援が行われたかチェックしている。 ・ご利用者の成長に合わせた最適な支援を提供できるよう心掛けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	・日々の行動観察などから得た情報を、ミーティングでアセスメントシートに記載して共有することにより全スタッフが確認できるような仕組みを整えている。 ・保護者や相談員から頂いた情報と日々の支援時の観察などから状況を把握するように努めている。これらを統合し、子供の適応行動の状況の確認をしている。 ・保護者や相談員からの情報でアセスメントを行っていると思う。 ・標準化されたツールは使用していないと思うがツールを使用すれば適応行動の状況を把握できるのかと思った。 ・フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントの両者のメリットにより、子どもの適応行動の状況確認ができると思います。 ・標準化されたツールは使用していないが、保護者や相談員からの情報や日々の様子から当施設独自のアセスメントツールを使用している。 ・フォーマルなアセスメントは行っていないが両者を組み合わせた総合的な支援も福祉の現場では行っても良いと思った。	
適	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	・放課後等デイサービスガイドラインにそって、ご利用者に最適な支援を提供できるよう放課後等デイサービス計画を作成している。 ・年代や発達段階、障害特性等に応じた発達上のニーズに合わせ支援している。 ・ガイドラインに明示された項目を設定し、ご利用者の強みを生かして段階的に課題に取り組めるような支援内容を設定している。 ・毎日集団活動を取り入れ、子に応じた活動も行うことで一人ひとりの成長がみられる。 ・「本人支援」に加え「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」も合わせて、個々のニーズに応じて設定している。 ・計画にそれぞれの子どもの支援に必要な項目が設定されている。 ・子どもは家庭や地域社会における生活を通じて様々な体験を積み重ねながら育っていくことが重要である。放課後等デイサービスガイドラインに沿って、利用者に適切な支援を提供できるように計画が作成されていると思う。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	・打ち合わせの中で、目標の達成状況を確認して方針を決めている。長期休みの活動についても、多くのスタッフからの意見を集約し決定している。 ・職員間での意見交換を大事にし、活動プログラムを作成している。 ・担当者が立案しミーティングで確認している。 ・設定された活動内容は、他職員と話し合ったりチームで行っている。 ・活動ごとに担当者がいて、その人を中心に話し合い、アイディアを出しあっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	・固定化しないように月ごとに立案し、ご利用者の状況に応じて柔軟に対応している。 ・毎月、活動内容や担当者を替え、いろいろな活動ができるように工夫されている。 ・ご利用者のご様子にも合わせて工夫している。 ・毎月活動内容、担当者を変更し、様々な活動を計画していると思う。 ・定期定期に見直しを行い、固定化しないよう工夫している。 ・固定化されないように新しい活動に取り組んだり、利用者の様子にも合わせて工夫されています。 ・カレンダーに活動の予定を書き込み、様々な活動を行うことができるように工夫されています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	・個々の子どもの状況に合わせた計画を作成し、それに基づき当日の状況を踏まえて支援している。子どもの成長と発達を促すよう、5領域を踏まえた計画を作成し、支援している。 ・集団、個別の活動を組み込まれた計画が作成され、支援が行われている。 ・子どもたちの成長と発達を促すために計画が作成され、集団活動では全員が参加されるように工夫して行っている。 ・5領域の内容と照らし合わせ、個別活動で集中して課題に取り組む時間と集団活動で他者と関わりあって取り組む時間を設け支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・毎日の打ち合わせで、当日の支援内容や役割の確認と前日の支援の振り返りを行い、職員全員が共有している。 ・毎日支援前にミーティングを行い、役割等を把握し効率よく支援がされていると思う。 ・職員間で話し合い協力し合うことでより良い支援につながっていると思います。結果、事故を未然に防ぐ事にもつながっていると思います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	14	0	・特変があった場合は、話し合いを持つ。翌日の打ち合わせの時に支援の振り返りが行われ、保護者と話した内容や気づいた点等が共有されている。 ・支援終了後は時間が遅くてできないので、翌日のミーティングで前日の振り返りを行って気づいた点を共有している。 ・問題が発生した場合は、当日話し合う。反省用紙を提出しまとめた意見を回覧したり、翌日の振り返りで気が付いたことを話し合い共有している。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	・毎日支援経過の記録を行い、支援の検証・改善につなげている。 ・毎日のご利用者の様子や特記事項を支援経過表、連絡ノートに記録し、それをもとに振り返りを行い支援の検証や改善につなげている。 ・ご利用者の様子をノートに記録することで支援の検証・改善につながっていると思う。 ・支援手法や達成度を分かりやすいように留意しながら記録をとっている。 ・疑問点は、職員共有ノートを利用し検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・定期的に保護者と面談を行っている。 ・半年に１度のモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。 ・定期的に行い職員全員で確認し合っている。 ・計画の更新時やその他必要に応じて適宜モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	14	0	・生活動作の自立支援に加えて、様々な経験により、興味関心が持て、子ども同士の関わりの中で子どもが主体性を発揮しながら参加できるよう心がけて支援している。地域に出かけて地域の方々との交流も行っている。 ・活動を複数組み合わせて支援を行っている。 ・特に長期休みは地域交流の機会を設け、充実した活動を提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	0	・端的な言葉かけやジェスチャー、絵カード等を用いて毎日の活動における自己選択を促している。 ・絵・写真カードを使い自分で選択できるように工夫したり、利用者の声や気持ちを大事に支援している。 ・自己選択できる機会と同時に、意思表出手段にも配慮し、自己決定の機会を育めるよう支援している。 ・肯定的な言葉かけを行い、考える力・自己決定する力を育てるようにしている。 ・個別の予定表を作成する等、工夫されていると思う。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	・管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。 ・子どもの状況を理解している児発管が参画している。（会議前には、他職員から情報の聴き取りも行っている。） ・児童発達管理責任者が出席し、翌日のミーティングで報告している。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	・1～2か月に1回、精神科医より助言いただいている。 ・管理者が窓口となり、他機関と連携し支援を行う体制を整えている。 ・いつでも連絡が取れる体制を整えている。主治医からの指示書の沿って看護師がケアを行っている。 ・主治医からの指示書に沿って看護師がケアを行っている。また、精神科医より助言をいただく機会がある。 ・学校、相談員、他事業所と連携し、ご利用者の行動分析を行った。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	・手紙や電話はもとより、下校時の申し送りの場面やケース会議等のへの参画などを通し積極的な情報共有に努めている。 ・電話、おたより、マチコミ等で情報共有・連絡調整している。 ・電話、おたより、お迎え時などで連絡調整・情報共有をしている。 ・下校時刻や行事予定は学校からメールをいただき情報共有が出来ている。 ・手紙や電話場合によっては学校等へ出向いて直接お会いして話をしています。迎えの時にも連絡を取り合います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0	・送迎時、担当者よりの報告は誤りのないようメモを取るなどして対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	0	・直接または相談支援専門員の方を通して、情報を提供している。 ・関係者会議等で情報を共有し、ご利用者本人の状況をお伝えしている。 ・担当相談員を通じ情報提供する事が多いが、直接情報を求められ提供する場合もある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	11	0	・支援センター主催の研修会に多くの翔君が参加した。 ・スーパーバイザーの助言は、対応が難しい子どもへの支援の参考になる。また、保護者へのアドバイスとしてお伝えできる。・助言や研修の機会は活用するように努めている。 ・児童発達支援センター主催の研修会等に参加し、必要に応じ質問し指導を受けている。 1～2か月ごとにスーパーバイザー（協力医療機関の医師）より助言いただいている。 ・研修に参加し、対応が難しい子どもや家庭をはじめ、個別ケースへの支援を含め支援の質の向上につながっている。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	2	・公園で地域の子どもと遊具を一緒に使わせてもらう等接する機会があると思う。 ・公園で地域の子どもたちと接することはある。ご利用者によっては他の子ども達が遊ぶ様子を見て楽しんでいる。 ・近隣のお店や公園への散歩、施設への訪問などで、話は出来なくても精神的な交流は出来ているのではないか。	・コロナ等で交流の機会が減った。 ・最近では地域にクマの出没が懸念され、公園までの散歩を控えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	0	・担当者の児童発達支援管理責任者が参加し、報告書を回覧している。 ・助言や研修の機会は活用するように努めている。 ・必ず参加し、会議の内容を報告書で回覧している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・ご利用者を送った時、様子をお伝えしご家族とコミュニケーションを図っている。 ・送りの時に様子を話したり、お家での様子を伺う。連絡帳でも毎回の様子を伝えている。 ・連絡ノートでお伝えしたり、必要があれば直接お伝え（送り）している。保護者からもお知らせ頂いて共通理解を持てている。 ・送迎時や面談時に日頃のお子さんの様子や変化、今後の課題について共有している。 ・ご自宅への送りが始まり、保護者の方と直接顔を合わせる機会が減ったが、その分連絡ノートでのやり取りを密に行えるよう心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	・保護者からの悩みごとや困りごとといった相談には、助言や提案を行っている。 ・保護者が子育てに関する知識やスキルを習得し、子どもの発達や問題行動に対応するために研修等のご案内を行っています。 ・プログラムとしては設けていないが、年1回の茶話会を実施し、子育てや卒業後の進路についての情報共有の場を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、ご利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・契約時や変更時に、口頭で説明している。 ・契約時にお伝えをして、内容が変更になった時にはその都度改訂した内容をお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	・保護者面談や、送迎時にその都度意向を確認している。 ・保護者面談を行い、ご家族の意向を確認する機会を設けている。 ・4つの基本活動を全て含めた総合支援をもとに作成され、利用者や保護者のお気持ちを確認する機会を設けている。 ・作成に聞き取りを行い、保護者やご本人の要望や意向の確認を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	13	0	・支援の内容を理解しやすいように説明している。 ・計画の内容を丁寧に説明し、同意を得ている。 ・計画作成時・更新時には、保護者のかたに説明し、同意とサインを得ている。 ・計画作成し、保護者への説明後に同意のサインをしてもらっている。 ・保護者の方から心配事や希望等を話されることがあるので、同意と信頼を得ていると思います。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・連絡ノートや面談等で、保護者の悩みごとや困りごとを受け止め助言している。 ・送迎時に保護者の方との会話を大事にし、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。 ・保護者の訴えの内容により、必要な場合は他職員と共有し、丁寧な対応を心掛けている。 ・送りやお迎えの時等、日頃のコミュニケーションを大切に対応し、連絡ノートでの相談や必要があれば面談を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0	・保護者を招いて茶話会を実施し、保護者同士で交流する機会を設けている。 ・職員も茶話会に参加し、親睦を深めている。 ・手をつなぐ育成会の先輩会員さんをお招きし、卒業後の進路や活動などについてお話をして頂いた。 ・茶話会を設け参加者を募っておりますが、お仕事の都合もあり数名の保護者の会となっている。	・茶話会を開き保護者を招いているが、参加者が少ない。 ・手をつなぐ育成会からイベントへの参加案内を配布するが、茶話会同様積極的な参加がない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	・マニュアルをもとに内部研修を実施し、職員に報告・連絡・相談を徹底し、迅速な対応に努めている。 ・苦情受付箱を設置し、適切に対応している。 ・職員間で共有し、再発防止に役立てている。 ・苦情受付の職員と苦情解決の職員が迅速かつ適切に対応している。 ・直接お聞きしたときはもちろんであるが、何事も些細なことでも上司の報告し相談して速やかに対応するよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・個人情報に十分に配慮しながら、HPやインスタ等で活動の様子を紹介している。 ・お便りやホームページやマチコミメールで情報発信が行われている。 ・その日の活動内容を連絡ノートでお知らせしたり、おたよりや（写真）HPやSNS等でも閲覧可能である。 ・インスタグラムを定期的に更新し、活動の様子や連絡事項等を発信している。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・個人情報の記載がある書類は鍵付きの重要書類の棚に保管されている。 ・個人名のある書類等はシュレッダーにかけている。 ・個人情報に関しては、細心の注意を意識している。文章のほか、職場が胃でもプライバシーを常に気にしている。 ・支援中・職場外の会話においても個人情報を常に気にしている。 ・お子様の情報に関して、学校、相談員等の関係機関と連携する場合は、事前に同意を得るようにしている。 ・HPやインスタ等での発信では個人情報の保護措置を施している。 ・個人名があるものはシュレッダーで破棄している。 ・大事な書類は鍵付きのキャビネット、金庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・各ご家庭の事情に合わせたコミュニケーションや情報の伝達がされていると思います。 ・絵カード、写真カード、スケジュール表などのコミニュケーションツール活用など、個々の特性や理解度に応じて配慮するように努めている。 ・ご利用者はもちろん保護者の方とは、話しかけやすい雰囲気作りを心がけている。 ・分かりやすい言葉をかけるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	・長期休みはボランティアの方に来ていただいたり、高齢者施設を訪問して、施設の紹介と交流を図っている。 ・外部講師やボランティアの方に来ていただき、活動を行っている。 ・町内会に所属し、総会に参加している。地域の行事等にお誘いいただいている。 ・コロナの影響もあったが、ボランティアの方々や様々な催しで来所して頂いております。 ・外部講師を招いて活動を行っている。地域行事にもお誘いいただいている。 ・HPやSNSに活動の紹介をするなど地域や一般の方に向けても情報を発信している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	・各マニュアルが策定されていて、職員に内部研修として行い周知されている。保護者には契約時に知らせている。 ・内部研修、訓練も実施している。 ・職場研修がありマニュアルが配布され周知に努めている。 ・各種マニュアルが策定されており、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っている。	・保護者の方々への周知が十分でないようだ。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・BCPに基づいた訓練や研修を定期的に実施し、緊急事態における事業継続に備えている。 ・BCPを作成し、シミュレーションや研修や訓練を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・保護者、学校としっかりと情報を共有し確認している。 ・初回のアセスメント時に確認し、毎日保護者、学校から、口頭や文章等で確認しながら職員間での共通理解に努めいている。 ・契約時にお子様の状況を確認し、お子さまの情報を記載した一覧表を作成して、全職員が確認できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	3	・アレルギーの情報は把握している。医師の指示書が必要なご利用者は現状ではいない。 ・おやつの時に気を付け、おやつを選んでいる。 ・医師の指示書はない場合も、保護者の方と連絡を密にとりながら対応している。 ・医師の指示書がある場合は、保護者の方と連絡を密にとりながら対応し、緊張感をもって行っていく。 ・アレルギーの有無、内容については個人情報記録表に記入の上ご提出いただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	・安全計画を作成し、それにそって研修や訓練を行っている。 ・毎月安全点検を行っている（月初め）。 ・内部研修、避難訓練を定期的に行い、非常災害時に利用者を速やかに誘導できるように取り組んでいる。 ・安全確保に係る取組等を確実に行なうために、日頃から周知し研修や訓練を行っており、安全点検は毎月あります。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	14	0	・安全計画を作成し、保護者に周知をはかった。 ・取組内容をホームページに載せ、保護者へ周知している。 ・緊急時にマチコミで保護者に知らせている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・些細なことでも報告やヒヤリハットを提出し、全員で検討し事故防止につなげている。 ・報告をもとに再発防止に向けカンファレンスを行い、報告書を施設長へ提出、回覧し、話し合い、未然に防げるよう対策している。 ・速やかに報告書を作成し、話し合い、再発防止に努めている。 ・日々の打ち合わせの中で、共有対応の検討を行っている。また、ヒヤリハット報告書を作成している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	・毎年「虐待・拘束」の内部研修が行われている。外部研修にも必ず毎年交替で参加している。 ・虐待防止のポスターを施設内に掲示している。 ・虐待防止対策委員会を設置し、内部研修や職員アンケートを実施した。また、必要に応じて学校、相談員、その他関係機関と連携を図っている。	

		チェック項目	はい	いいえ		改善が必要だと思われる点など
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0	・放課後等デイサービス計画に記載し、保護者の同意を得ている。 ・個別支援計画に記載し、実施記録も記入されている。必要がなくなるとすぐに解除されている。 ・やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者から承諾を得て行いますし、個別支援計画書に記載し実施記録も記入されます。	

自由記載

・多機能型事業所として、放課後等デイサービス職員と生活介護職員が協力し合いながら支援を行っています。職員間のチームワークがよく、日常的な情報共有の元、多くの目で子どもたちを見守る体制が整っていて、子ども一人ひとりに対して、統一した支援ができている点が「かどるあっぷ」の強みだと思っています。今後もこのよう連携体制を継続し、お子様の成長につながる支援や専門的な対応ができるように職員のスキル向上を目指したい。
・医ケア室での時間を安全に有意義に又たのしく過ごしてもらいたいと思います。そのためにお1人おひとりの状態をきちんと把握し、情報を共有しケアにあたっています。
・放課後等デイサービス、生活介護の方ともより多くの時間関われたらと思っています。気が付くと笑顔になっている、サーっと動いている自分、私の方がたくさんパワーをもらっていると感じます。
・車野小が使用できなくなり、不安があります。安定して使用できる場所が見つかると嬉しいです。（できれば移動がなく）
・5領域を意識した、支援や環境づくりが日々行われており、職員同士の協力も感じられる施設だと思います。保護者が安心して預けられる施設でいられるよう、丁寧な支援に努めていきたいと思います。
・看護師が配置されていることで医療的ケアが必要なご利用者のご家族はとても安心感があると思う
・ベットが満床になるように医ケア児がもう少し増えればいいのかなと思う。
・職員が楽しく活動しているとご利用者も笑顔になり施設全体が明るい雰囲気になるので、どんなときも笑顔で支援を行っていきたいと思う。
・最近の打ち合わせでは、看護師が出席され、看護師ならではの観点や健康状態などの報告があるので、打合せの内容が濃くなったと感じる。
・利用者にマンツーマンで取組み、一人ひとりのニーズに合わせた支援がされていると思います。医ケア室のベッドが満床になるように、受け入れができればよいと思っています。職員間のチームワークで、保護者の方が安心していただくことができるようにと思っています。利用者が笑顔で過ごせていることは、素晴らしいと思います。
・入職2ヶ月目でまだ携わっていない業務や不明な項目もありましたが、アンケートに答えていく中で、取り組んでいる業務内容や方針等を改めて知ることができ、今後の業務に活かしていきたいと思います。
・ご利用者1人ひとりが抱えている困り感の原因を知り、ニーズに合った支援目標になる様に考えていきたい。